



滋賀県立水口高等学校 スクール・ポリシー

校訓

醇厚（じゅんこう） 心遣いがゆきとどいていて 手厚いこと
 中正（ちゅうせい） かたよりがなく ただしいこと
 自彊（じきょう） 自分自身を励まし 努力すること
 進取（しんしゅ） 積極的に物事を行うこと
 （かたよらない あたたかい心で 自ら進んで 努力しよう）

■教育目標（目指す学校像）

県下有数の伝統校として、地域に貢献する人材を育成し、豊かな人間性と教養、たくましさを備え、社会で活躍できる生徒を育てる。

水高三つの方針（スクール・ポリシー）

◎水高グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

主体的に学ぶ意識を持ち、創造性に富み個性豊かな人の育成を目指します。
 自らの考えを持ちつつ、他者を尊重し、協働して目標に向かう人の育成を目指します。
 礼節に富み、社会の一員としての規範意識を持った人の育成を目指します。
 郷土を愛し、地域に貢献できる人の育成を目指します。

◎水高カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

コース制の特長を活かした、幅広い選択制のカリキュラムを編成します。
 高大連携や地域連携により、探究的な活動を積極的に実践し将来の進路実現につなげます。
 ICT 機器を活用し、効率的な学習を展開することにより、主体的・協働的・探究的な学びを進めます。
 生徒の自主的な活動を積極的に進め、地域や PTA との連携を深め、伝統ある「鹿深祭」で達成感を共有します。

◎水高アドミッション・ポリシー（入学の受け入れに関する方針）

本校の【校訓】を理解し、実践できる生徒。
 礼節・感謝・他者への思いやりの心を持った、向学心にあふれた生徒。
 郷土を愛し、将来郷土のリーダーになりたいと願う生徒。

指導の柱

『学習指導・進路指導』

- ・基礎学力の定着を目指す学習習慣を定着させる（1年生）
- ・専門的な学習に加え、進路目標実現に向けた学習を発展させる（2年生）
- ・自らの進路実現に向け、個別の学習方法を探究し、努力する（3年生）

『キャリア教育』

- ・目指す将来像について、考え始める（1年生）
- ・「翼輪セミナー」を通して、自身の適性を知り、将来の目標を明確にする（2年生）
- ・自らの将来像を意識しながら、その実現のために具体的に行動する（3年生）

『学校行事・課外活動』

- ・主体的に活動に参加することで水高の一員であることを自覚する（1年生）
- ・学校の次代のリーダーになることを意識しながら、学校行事に関わる（2年生）
- ・理想の学校行事の実現に尽力し、次年度以降に継承する（3年生）

次代を担う、郷土のリーダーの育成